

スサ申3号「2023年度賃金引き上げ等に関する申し入れ」第1回交渉を行う！②

3月17日2時間半にわたり、第1回交渉を行いました

今年度通期見通しは「増収増益」!

交渉のポイント!(組合側の意見)

1. 黒字決算を生み出したのは、組合員・社員の努力の賜物である。
2. コロナ禍での不安と恐怖の中で日々の業務を行っている。
3. 「マスク着用が個人判断」やパーテーションやビニールシートの撤去に困惑している。
4. 施策やイベント対応など増収活動へ積極的に取り組み、過去最高の働き度で奮闘している。
5. サポートコールセンターや1人勤務駅での異常時対応で休憩時間も休めずに対応している。
6. 光熱費が倍になるなど、生活レベルが低下し、「自分で自分を養うことが厳しい」という声が出ている。
7. 所定昇給額が低いことによる不満や嘆きがあるため、増額を訴える

回答のポイント!(会社側の意見)

- ・黒字化は社員の努力である。 **認識一致**
- ・コロナ禍での日々の業務にあたる社員の努力には感謝している。
- ・新型コロナウイルス感染症の認識の変化、2類から5類への変更が1つの区切りであると考え。職場の対応については、丁寧な説明をする。
- ・社員の知恵を絞った取り組みには感謝している。
- ・物価高に関してホットな話題として捉えている。今まで同様1つの要素である。
- ・離職者は一定数いる。母数が増えているため、(離職者も)増えている。
- ・労働市場の流動であり、離職の理由は様々だが、危機感を持っている。
- ・長期的な人件費のため、所定昇給額の増額などの制度変更はハードルが高い。

会社はことある度に「**慎重な判断で**」と言うばかり、

プロパー組合員や社員をしっかりと見ているのか?

私たちの声と現実・実態を直視し、満額回答すべきだ!

ステーションサービス協議会に対する質問
や意見や春闘に関する意見はこちらまで



[JR東労組お問い合わせフォームはこちら!](#)